

八広地域プラザ指定管理者応募事業者概要

	事業者名	一般社団法人吾嬬の里
利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	・判断基準を明確にするため、各種マニュアルを定め公平な業務を行う。 ・予約は先着順（受付開始日においては抽選）とする。
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	・新規事業として「やひろ街かど食堂」や「吾嬬の里フリーマーケット」を開催することで、地域コミュニティの交流の場としての取り組みをさらに進める。 ・オリンピック・パラリンピック種目の体験教室を実施し、異世代の交流を促す。 ・施設を利用しているサークル団体や地域住民、地域団体の活動を発表する場を提供し、サークルや地域活動の活性化と地域住民のコミュニケーションの充実を図る。
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	・大会議室を2つに分け、現在より低い料金で貸し出しができるよう、貸し出し区分及び利用料金体系を変更することを提案する。 ・相談室2の利用料金を下げ、2つの相談室の利用料金に差を設けることで、人数に応じた利用を促す。 ・相談室に可動式のテーブルを導入し、柔軟なレイアウトができるよう改善する。
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	・ご意見箱を設置し、常時、利用者の声を収集する。 ・事業や講座の開催時にはアンケートを実施し、ニーズに合った事業を展開する。
	(5) 墨田区が掲げる協治（ガバナンス）の考え方を生かした提案となっているか	・地域の持つ人材・情報・ノウハウ等の資源を積極的に活用することで、住みやすいまちづくりの担い手として地域に貢献し、その中心となる施設運営を行う。 ・町会・自治会をはじめとした地域の団体が抱える課題に対し、解決の糸口となる講座を新たに実施する。
	(6) 地域コミュニティの活動が活性化されるような独自の提案があるか	・スポーツドアあずまと連携し、子どもから高齢者までのスポーツを通じたコミュニティ活動の推進を図る。 ・地域交流事業として、地域との関わりが少なくなりがちな家庭に、地域とつながるきっかけを作る「やひろ街かど食堂」事業を実施し、地域住民の交流につなげる。 ・地域の方が介護予防教室に参加する機会を増やすため、高齢者に対する健康増進プログラムとして、新たに「介護予防講座」（自主事業）を実施する。
効率的・効果的な施設の運営	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	・事業企画委員会の開催 ・ご意見箱やアンケートの活用に加え、日頃の利用者とのコミュニケーションを通して、利用者の声を施設運営に反映させることにより、より地域住民と身近な立場となり、地域住民の憩いの場となる施設を目指す。
	(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	・計画的な管理・保全や適切な改修を行うことによって、施設の長寿命化と修繕コストの削減を目指す。 ・不要な印刷を減らし、可能な限りデータ上にて事務処理を行う。
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	指定管理料提案額：66,433,300円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	・地域プラザに従事する者は積極的に地域住民の人材を活用する。 ・物資購入時は積極的に区内業者を活用する。
	(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	・大会議室を2つに分け、現在より低い料金で貸し出しができるよう、貸し出し区分及び利用料金体系を変更することを提案する。 ・相談室2の利用料金を下げ、2つの相談室の利用料金に差を設けることで、人数に応じた利用を促す。 ・相談室に可動式のテーブルを導入し、柔軟なレイアウトができるよう改善する。 ・地域の方が介護予防教室に参加する機会を増やすため、高齢者に対する健康増進プログラムとして、新たに「介護予防講座」（自主事業）を実施する。 ・自由に利用することができる外部コミュニティゾーンやロビーを活かし、地域の方が気軽に足を運ぶことができる事業を展開する。
事業計画の遂行能力	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	【自己資本比率】平成28年度：39.3% 平成29年度：53.1% 【流動比率】平成28年度：163% 平成29年度：206% 【長期固定資産適合率】平成28年度：2.0% 平成29年度：5.6%
	(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	・施設の総括責任者として館長1名、館長不在時の代理の責任者として副館長3名を雇用する。 ・開館中は館長又は副館長を常時1名以上配置する。 ・電話対応及び利用者対応として、午前及び夜間は1名、午後の時間帯は2名の受付スタッフを配置するなど、利用状況に合わせた人員配置を行う。
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	・各職員がそれぞれの職務内容を適切に理解し、利用者への対応・サービスにばらつきが出ないように、研修を実施する。
	(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	・パソコンにはIDとパスワードの設定を行い、デスク等に施錠する。 ・申請書などの書類や帳票などの保管場所は必ず施錠する。
	(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	・「お泊り体験と防災体験教室」を実施することで、職員の危機管理体制を確認するとともに、地域団体との連携がとれるよう、体制を整えておく。 ・苦情対策と防止策についてマニュアルを作成し、研修を行う。 ・苦情内容は記録管理を行い、内容を分析することで、今後の運営や改善に役立てる。